

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流动資産				流动負債			
現金預金	130,761,353	133,278,436	△2,517,083	短期運営資金借入金			
有価証券	70,918,455	78,611,077	△7,692,622	事業未払金			
事業未収金	59,842,898	54,667,359	5,175,539	その他の未払金			
未収金				支払手形			
未収補助金				役員等短期借入金			
未収収益				1年以内返済予定設備資金借入金			
受取手形				1年以内返済予定長期運営資金借入金			
貯蔵品				1年以内返済予定リース債務			
医薬品				1年以内返済予定役員等長期借入金			
診療・療養費等材料				1年以内支払予定期間未払金			
給食用材料				未払費用			
商品・製品				預り金			
仕掛品				職員預り金			
原材料				前受金			
立替金				前受収益			
前払金				仮受金			
前払費用				賞与引当金			
1年以内回収予定期間貸付金				その他の流动負債			
短期貸付金							
仮払金							
その他の流动資産							
徴収不能引当金							
固定資産	462,214,444	471,142,413	△8,927,969	固定負債			
基本財産	271,164,466	210,681,343	60,483,123	設備資金借入金			
土地	151,172,464	149,237,000	1,935,464	長期運営資金借入金			
建物	119,992,002	61,444,343	58,547,659	リース債務			
定期預金				役員等長期借入金			
投資有価証券				退職給付引当金			
その他の固定資産	191,049,978	260,461,070	△69,411,092	長期未払金			
土地	5,528,082	7,463,546	△1,935,464	長期預り金			
建物	148,045	166,745	△18,700	その他の固定負債			
構築物	3,437,185	14	3,437,171	負債の部合計	25,985,892	24,641,255	1,344,637
機械及び装置				純資産の部			
車輛運搬具	4,065,002	3,255,322	809,680	基本金	274,167,268	274,167,268	
器具及び備品	17,356,523	9,659,415	7,697,108	第一号基本金	274,167,268	274,167,268	
建設仮勘定				第二号基本金			
有形リース資産	9,078,284	9,916,028	△837,744	第三号基本金			
権利				国庫補助金等特別積立金	37,472,198	35,919,437	1,552,761
ソフトウェア	1,436,857		1,436,857	国庫補助金等特別積立金	37,472,198	35,919,437	1,552,761
無形リース資産				その他の積立金	150,000,000	230,000,000	△80,000,000
投資有価証券				施設整備等積立金	150,000,000	230,000,000	△80,000,000
長期貸付金				その他の積立金			
退職給付引当資産				次期繰越活動増減差額	105,350,439	39,692,889	65,657,550
長期預り金積立資産				(うち当期活動増減差額)	△14,342,450	5,185,814	△19,528,264
施設整備等積立資産	150,000,000	230,000,000	△80,000,000	純資産の部合計	566,989,905	579,779,594	△12,789,689
その他の積立資産				負債及び純資産の部合計	592,975,797	604,420,849	△11,445,052
差入保証金							
長期前払費用							
その他の固定資産							
資産の部合計	592,975,797	604,420,849	△11,445,052				

資金収支計算書

(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収入	介護保険事業収入	359,612,000	359,655,324	△43,324	
	借入金利息補助金収入				
	経常経費寄附金収入	70,000	70,000		
	受取利息配当金収入	7,000	3,989	3,011	
	その他の収入	1,388,000	1,388,355	△355	
	流動資産評価益等による資金増加額				
	事業活動収入計(1)	361,077,000	361,117,668	△40,668	
事業活動による支支	人件費支出	272,464,000	272,341,247	122,753	
	事業費支出	61,548,000	61,464,447	83,553	
	事務費支出	24,021,000	23,835,502	185,498	
	利用者負担軽減額				
	支払利息支出				
	その他の支出				
	流動資産評価損等による資金減少額				
事業活動支出計(2)		358,033,000	357,641,196	391,804	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		3,044,000	3,476,472	△432,472	
施設整備等による収入	施設整備等補助金収入	3,500,000	3,500,000		
	施設整備等寄附金収入				
	設備資金借入金収入				
	固定資産売却収入				
	その他の施設整備等による収入				
	施設整備等収入計(4)	3,500,000	3,500,000		
施設整備等による支支	設備資金借入金元金償還支出				
	固定資産取得支出	86,759,000	86,738,458	20,542	
	固定資産除却・廃棄支出				
	ファイナンス・リース債務の返済支出	2,749,000	2,748,744	256	
	その他の施設整備等による支出				
	施設整備等支出計(5)	89,508,000	89,487,202	20,798	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△86,008,000	△85,987,202	△20,798	
その他の活動による収入	長期運営資金借入金元金償還寄附金収入				
	長期運営資金借入金収入				
	長期貸付金回収収入				
	投資有価証券売却収入				
	積立資産取崩収入	80,000,000	80,000,000		
	その他の活動収入計(7)	80,000,000	80,000,000		
その他の活動による支支	長期運営資金借入金元金償還支出				
	長期貸付金支出				
	投資有価証券取得支出				
	積立資産支出				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	80,000,000	80,000,000		
	予備費支出(10)				
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△2,964,000	△2,510,730	△453,270	

前期末支払資金残高(12)	123,349,126	123,349,126	
当期末支払資金残高(11)+(12)	120,385,126	120,838,396	△453,270

事業活動計算書

(自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月 31日)

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	359,655,324	338,808,504	20,846,820
		経常経費寄附金収益	70,000	113,000	△43,000
		サービス活動収益計(1)	359,725,324	338,921,504	20,803,820
	費用	人件費	272,909,981	249,314,187	23,595,794
		事業費	61,464,447	52,432,073	9,032,374
		事務費	23,835,502	15,865,956	7,969,546
		利用者負担軽減額			
		減価償却費	19,079,667	19,907,446	△827,779
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△1,947,239	△6,162,769	4,215,530
		徴収不能額			
		徴収不能引当金繰入			
		その他の費用			
サービス活動外増減の部		サービス活動費用計(2)	375,342,358	331,356,893	43,985,465
	収益	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△15,617,034	7,564,611	△23,181,645
		借入金利息補助金収益			
		受取利息配当金収益	3,989	5,300	△1,311
		有価証券評価益			
		有価証券売却益			
		投資有価証券評価益			
		投資有価証券売却益			
		その他のサービス活動外収益	1,388,355	2,142,182	△753,827
		サービス活動外収益計(4)	1,392,344	2,147,482	△755,138
	費用	支払利息			
		有価証券評価損			
特別増減の部		有価証券売却損			
		投資有価証券評価損			
		投資有価証券売却損			
		その他のサービス活動外費用			
		サービス活動外費用計(5)			
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,392,344	2,147,482	△755,138
		経常増減差額(7)=(3)+(6)	△14,224,690	9,712,093	△23,936,783
	収益	施設整備等補助金収益	3,500,000		3,500,000
		施設整備等寄附金収益			
		長期運営資金借入金元金償還寄附金収益			
		固定資産受贈額			
費用		固定資産売却益			
		その他の特別収益			
		特別収益計(8)	3,500,000		3,500,000
		基本金組入額			
		資産評価損			
		固定資産売却損・処分損	117,760	4,526,279	△4,408,519
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)			
		国庫補助金等特別積立金積立額	3,500,000		3,500,000
		災害損失			
		その他の特別損失			
		特別費用計(9)	3,617,760	4,526,279	△908,519
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△117,760	△4,526,279	4,408,519
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△14,342,450	5,185,814	△19,528,264	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	39,692,889	34,507,075	5,185,814
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	25,350,439	39,692,889	△14,342,450
		基本金取崩額(14)			
		その他の積立金取崩額(15)	80,000,000		80,000,000
		その他の積立金積立額(16)			
		次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	105,350,439	39,692,889	65,657,550

事業実績統括

2022年度は3年目のコロナ禍での事業展開となりました。行事の縮小、地域交流の中止にはInstagram・Facebookで施設の情報発信、ご家族との面会規制にはLINEビデオ通話等で対応し、職員の行動規制、外出制限と不自由な生活を強いられてしまい、職員の研修もパソコンによるリモート（ZOOMの利用等）での参加が多かった。5月に開設した通所介護リハビリ特化型デイサービスセンター「リハジムらしかる」も介護予防を主とし、在宅生活継続可能な状態を保つための取り組みを目的として運営にあたり、趣旨に賛同してくださる方が増えてきました。

入所施設においては、個々のケアプランを日々の生活に取り入れ、各委員会（感染対策・安全対策・喀痰吸引等安全・生活機能改善・自己評価接遇・イメージアップ戦略・安全衛生・防災・ノーリフティングケア）等において検討、話し合い、各委員が主となり安心・安全のサービス提供に努めた。また、今年度はノーリフティングケアに取り組み、利用者様の安全・安心、職員の腰痛、体力軽減対策を目的として介護員をリーダーに、事務・医務・リハ職・相談係・管理栄養士・厨房・用務員と全職員一丸となり研修をすすめ、ノーリフティングケア推進施設として認定証を頂き、大きな成果を挙げる事ができました。多くの行事が中止、縮小されましたが職員一同「利用者様に笑顔の日々を」と願い創意工夫を以て夏祭り・敬老会・年越し会を催し、敬老会においてはグループホームと合同で行い、正装した顕彰者様（白寿1名・卒寿5名・米寿2名）を利用者様と職員でお祝いし記念写真撮影・記念品贈呈・皆さんからお祝いの言葉を頂き笑顔を見る事ができた。

給食面においては、個々の栄養状態を把握し健康に過ごしていただくために、管理栄養士による栄養マネジメント計画に沿って、嚥下困難食、食事摂取困難者の食形態の見直し、STや看護師のアドバイスを受け安全な食事提供ができました。低栄養者への栄養補助食品の使用は3ヶ月ごとに評価を行い、栄養改善に繋げることができた。希望食やデザート、祝い膳の提供、利用者様との触れ合いを大切に食の楽しさと個々の嗜好の把握をし、給食会議においては食の安全、メニューの開発等職員の資質向上を図り、利用者様の楽しみを増やすことに努めた。

医務面においては、5回目のコロナワクチン接種も済、医務を中心に感染対策委員会と連携して感染予防対策に取り組み、健診や予防接種の実施、利用者様の健康管理、異常の早期発見による適切な対応を目標とし、医師の指示を仰ぎご家族の意向を確認しながら対応した。介護員と共に寝たきりの方や経管栄養の方の離床を進めADLの向上に努めた。（今年度も喀痰吸引研修の指導を行った。）

短期入所生活介護においては、利用者延人数154名・延日数2,784日の実績となり、各居宅事業所からのケアプランに沿って定期的利用、長期利用、緊急時利用と、ご本人とご家族の心身の負担軽減とADLの維持を図り施設生活の行事や余暇活動の中で生きがいを感じていただけるよう生活リハビリを通じ日常生活への意欲と自信につなげるよう務めた。

居宅介護支援事業所においては、計画作成件数1,130件（介護予防件数96件・総合事業利用者数310件）限られたサービスの中で利用者様やご家族の意向に沿ったサービス提供を行い、コロナ禍での定期的な家庭訪問の様子伺いが思うように出来ず、電話による連絡事項が多かった。独居生活・老人世帯の方の通院乗降や遠方家族との連絡調整が多く、困難事例への対応は包括支援センター・サービス事業所との連携を図り行った。

デイサービスセンターにおいては、利用者延人数5,582名（総合事業利用者数1,919名）延日数365日、コロナ禍予防の対策を徹底し365日を休む事無く実施した。自立支援を図り、生きがいと生活意欲を持たせ、心身の健康を保つ事を目標とし、生活相談・健康状態の確認・リハビリの強化・入浴・食事・余暇・趣味活動等個々に合ったプログラムで過ごしていただき家庭での生活助長につなげている。

毎月のデイサービス独自の広報誌も皆さんの楽しみの一つとなり好評いただきました。

グループホームにおいては、今年度は2名の入れ替わりがありました。利用者様の毎日の生活の中での不安をとり除けるよう傾聴に努め、今年はミニトマト・オクラ・人参とミニ畑作りに挑戦し、毎日の生活の中での生きがいとなり収穫を楽しみました。2ヶ月ごとに発行される独自の広報誌もホームの様子がよく分かると大変喜ばれました。（運営推進委員会は5回実施できました。）

介護実習センターにおいては、夏の大雨災害時利用者2名・越冬のための2名の方が利用されました。

公益事業においては、深浦町と鰺ヶ沢町で、ことばの教室「めばえ」がS.Tによる支援でおこなわれた。

介護保険制度の対応が色々な面で複雑化しているなか、利用者様や職員の負担が多くなるも試行錯誤しながら乗り越えてきましたが基本的な生活はかえられず、光熱費、ガソリン、食材等すべての物の高騰がのしかかり運営が厳しくなり建替えもしばらく見送りせざるを得ないのが現状です。早く世界が平和になることを望みます。

財產目錄

令和5年3月31日現在